

世界激変、AIで産業変革を起こす

# AI リーダーズ100

— 2026年度下期パートナー企業募集 —

日経BP

# 日経BP「AIリーダーズ100」とは

2025年に日経BPの各編集部と総合研究所が総出で立ち上げた年間プロジェクト。

AIで社会を牽引するリーダー100名を念頭に、

取材活動やイベント登壇などを通じ、日本産業や社会がAIとどう向き合うべきかを発信・議論。

AIによる日本の産業変革を支援していきます。



# 「AIリーダーズ100」各プログラム

1

**横断型特設サイト『AIリーダーズ100』**  
AIに関連したクロスインダストリーの知識をワンストップで提供



2

## AIリーダーズ会議

年間2回、産官学のAIリーダー、企業のCDO・COOを対象に議論。  
アドバイザーボードの場を設定し、議論テーマを策定。

3

## AIリーダーズ会議 分科会

AIリーダーズ会議から派生し、パートナーごとに分かれて  
ラウンドテーブルを行い、より具体的な議論を実現。

4

## 冊子「AIリーダーズ100」(BOOKinBOOK&同梱)

年間2回、Webサイト「AIリーダーズ」掲載記事の抜粋・  
再編集した記事や、「AIリーダーズ会議」の採録をまとめた冊子を発行。

5

## 経営者ブレックファーストミーティング

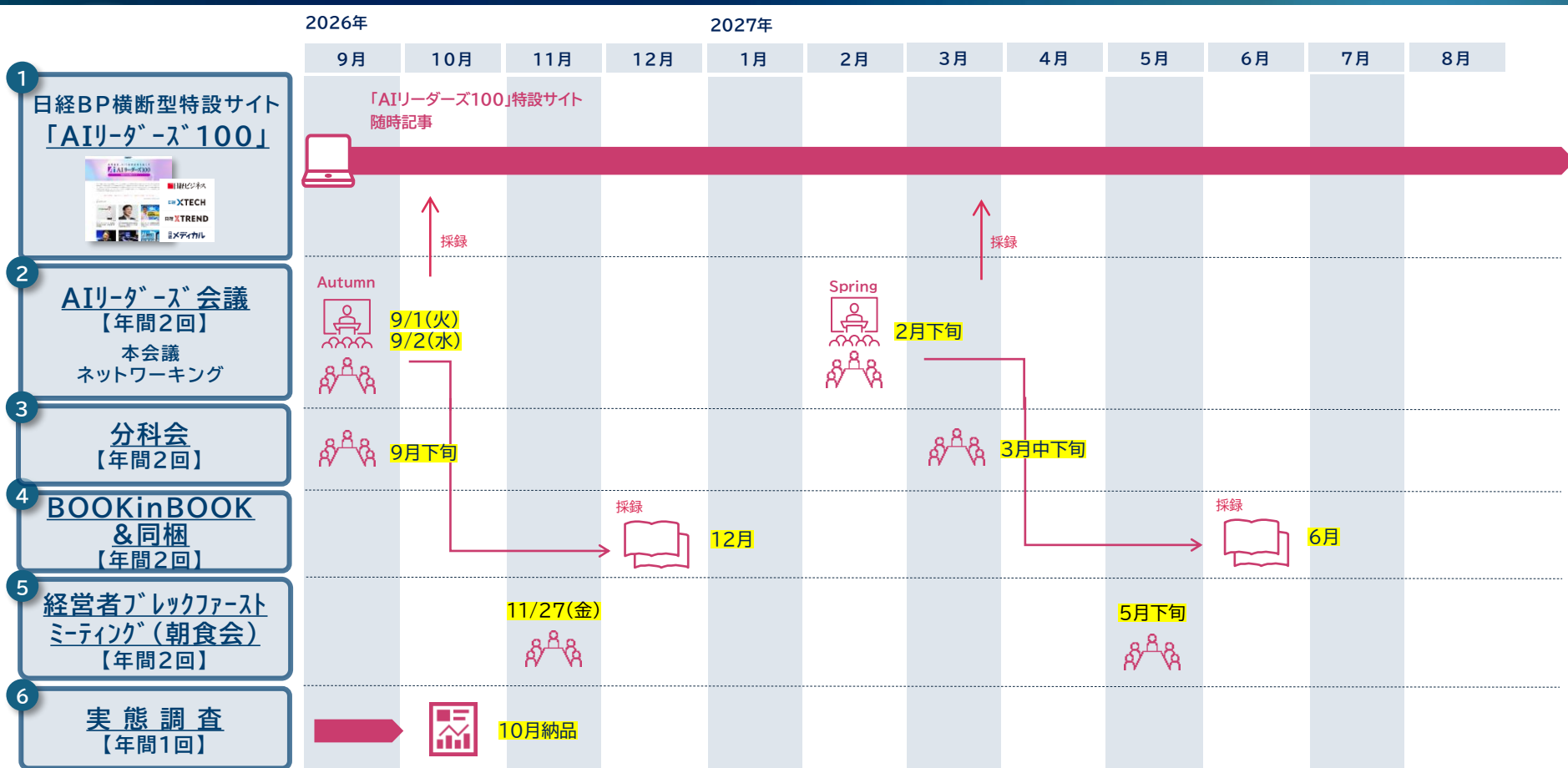
年間2回、CEOを中心とした経営トップの朝食会。  
最新の動向について、経営者自らが学びを得る場を提供。

6

## 実態調査

年1回、実態調査を実施。

# 「AIリーダーズ100」プロジェクトスケジュール



# 1 【横断型特設サイト】AIリーダーズ100

---

# 特設サイト「AIリーダーズ100」

AI活用による産業構造の変革やリスクを議論したり、共創の場をつくり競争を促進するにあたっては、産業横断的な視点が必要と考えます。そこで、日経BPのWebサイトが団結し、AIに関連したクロスインダストリーの知識をワンストップで提供するサイトを開設いたします。

具体的には、日経ビジネス電子版、日経クロステック、日経クロストレンド、日経メディカルなどに掲載されたAI関連の記事をキュレーションするとともに、『AIリーダーズ』オリジナル記事をワンストップで閲覧可能です。

日経ビジネス  
日経XTech  
日経XTrend  
日経メディカル  
+オリジナル記事

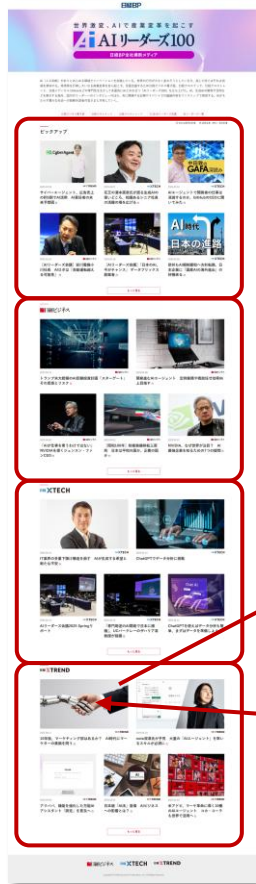
●各媒体のAI関連記事

●日経BP特設サイト

キュレーション

©2025 Nikkei Business Publications, Inc. All rights reserved.

# 特設サイト「AIリーダーズ100」



## 新着記事(手貼り)

- 新規インタビュー
- タイアップ
- イベントレポート(総研編集記事)



# 特設サイト「AIリーダーズ100」 リーダーズ一覧

AIリーダーズ一覧を五十音順で閲覧可能です。最終的には100名掲載される予定です。



## 2 【イベント】AIリーダーズ会議

---

# 2026Autumn 開催概要

## テーマ：AI産業革命を勝ち抜け

会期 2026年9月1日(火)・2日(水)の2days

<本会議> 9:30~17:30 (予定)

<ネットワーキング> 2日(水)17:45~19:00 (予定)

形式 会場とオンライン配信のハイブリッド形式

※一般視聴は【オンラインのみ】

※現地視聴・ネットワーキングは【招待制】・【事前応募抽選制】

主催 日経BP

協力 日経ビジネス、日経クロステック、日経クロストренд、日経メディカル、日経BP 総合研究所

会場 大手町プレイスホール&カンファレンス

受講費 無料・事前登録制

講演 主催講演×4、パネルディスカッション×4、パートナーセッション など

# 2026Autumn 想定プログラム(仮)

## ■ 9月1日(火)

9:30~10:30 60分	主催講演① 海外著名有識者講演
10:40~11:00 20分	【A】パートナーセッション
11:05~11:25 20分	【A】パートナーセッション
11:30~11:50 20分	【A】パートナーセッション
12:00~13:00 お昼休憩	
13:00~13:20 20分	【A】パートナーセッション
13:25~13:45 20分	【A】パートナーセッション
13:55~14:45 50分	パネルディスカッション① AI時代の企業経営 (CEOクラス)

14:50~15:00 10分	【B】パートナーセッション
15:10~15:20 10分	【B】パートナーセッション
13:55~14:45 50分	パネルディスカッション② AI武装に向けた 3つの課題(CxOクラス)
16:20~16:30 10分	【B】パートナーセッション
16:40~16:50 10分	【B】パートナーセッション
17:00~17:40 40分	主催講演② AI書籍著者講演

## ■ 9月2日(水)

9:30~10:30 60分	主催講演③ 官庁講演
10:40~11:00 20分	【A】パートナーセッション
11:05~11:25 20分	【A】パートナーセッション
11:30~11:50 20分	【A】パートナーセッション
12:00~13:00 お昼休憩	
13:00~13:20 20分	【A】パートナーセッション
13:25~13:45 20分	【A】パートナーセッション
13:55~14:45 50分	パネルディスカッション③ ソブリンAIとデータセン ター、勃興するAIエコ ノミー

14:50~15:00 10分	【B】パートナーセッション
15:10~15:20 10分	【B】パートナーセッション
13:55~14:45 50分	パネルディスカッション④ デジタルマーケ領域
16:20~16:30 10分	【B】パートナーセッション
16:40~16:50 10分	【B】パートナーセッション
17:00~17:40 40分	主催講演④ CEO×NB熊野編集長
17:45~19:00	ネットワーキング懇親会

※時間、テーマ内容は仮です。最新状況はお問い合わせください。

# 2026Autumn 想定プログラム(仮)

登壇については、2つの形式から選択いただきます。

A

自社ユーザー企業、または、日経BP編集との対談形式／20分

限定8社

B

単独登壇講演／10分

+

パネルディスカッションへの登壇／50分

※1つのパネルディスカッションあたり、2社までとさせていただきます都合上、Bに関しては限定8社(2社×4パネル)までとなります。

※10分単独講演のみの調整も可能です。ご相談ください。

## 開催概要

- 会期 2026年3月2日(火)、3日(水)  
<本会議> 9:00~17:00  
<ネットワーキング> 12:00~13:30
- 形式 会場とオンライン配信のハイブリッド形式  
※一般視聴は【オンラインのみ】  
※現地視聴・ネットワーキングは【招待制】
- 主催 日経BP
- 協力 日経ビジネス、日経クロステック、日経クロストренд、  
日経メディカル、日経BP 総合研究所
- 会場 大手町プレイスホール&カンファレンス
- 受講費 無料・事前登録制
- 講演 全22セッション(主催講演10/協賛講演12)

## 登録数、参加数

### ■オンライン

- ・事前登録者数:1,913
- ・視聴者数:2日間全体1,284(関係者含む)
- ・瞬間最大視聴数:666(関係者含む)

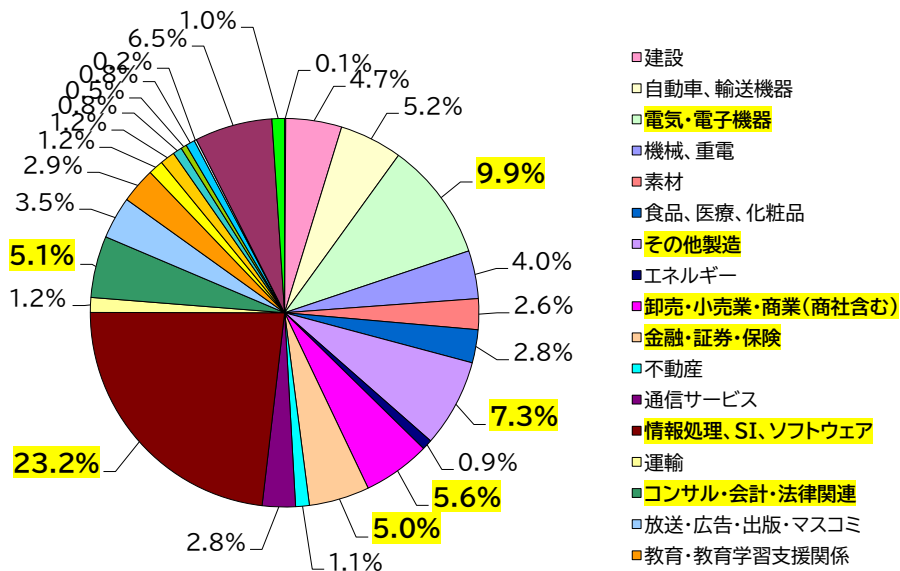
参考:2025年9月開催時

### ■オンライン

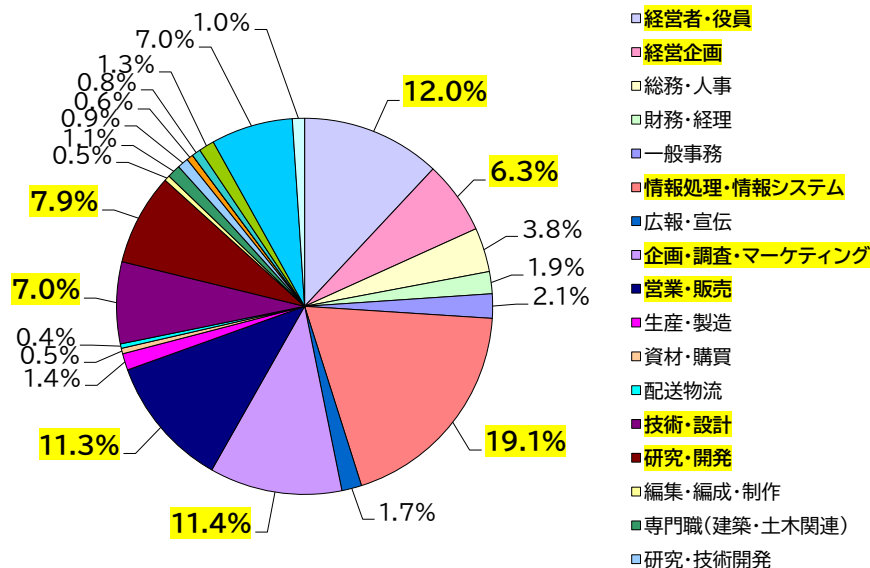
- ・事前登録者数:1,908
- ・視聴者数:1,349(関係者含む)
- ・瞬間最大視聴数:730(関係者含む)

## 参加者属性

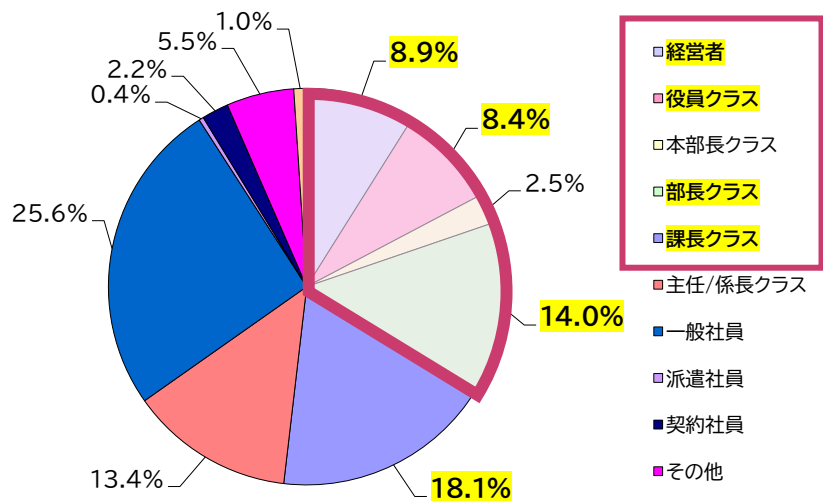
### 業種



### 職種

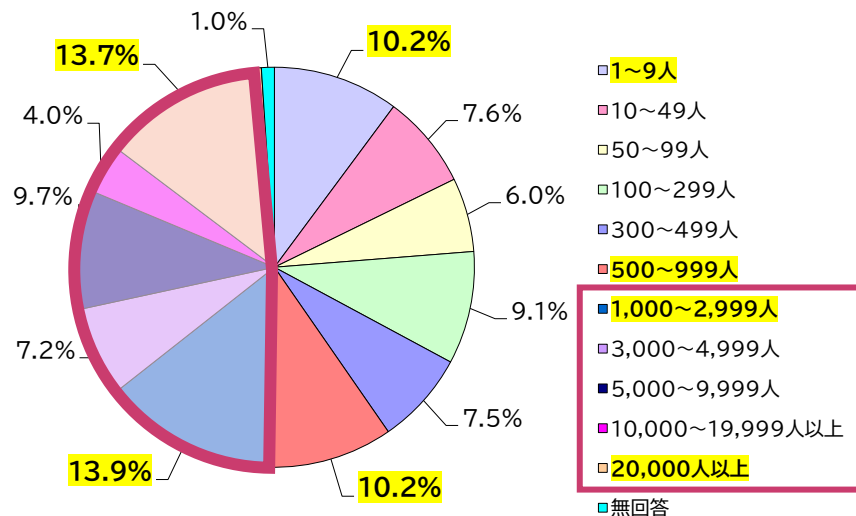


## ■ 役職



部長以上が3割越え、  
役職付きは半数以上の構成

## ■ お務め先従業員規模



1,000人以上の  
大手企業所属が半数

# 参考 | 当日の様子



基調講演



基調講演



パネルディスカッション



パネルディスカッション



基調講演



パートナーセッション(対談)



パートナーセッション(単独)



CEO×日経ビジネス熊野編集長

### 3 【会議】分科会

---

# 分科会について

より具体的な議論へ深化させるため、パートナーごとに分かれてラウンドテーブルを行います。

各パートナーの希望に沿ったテーマで、有識者や貴社のステークホルダーを招聘してディスカッションを行います。

モデレーターは日経BP 総合研究所の研究者が務めます。クローズドな会とすることも、採録記事の一部として発信することも可能です。

※課題に応じて、開催目的や形式をカスタムさせていただきます。

## 2025 テーマ例

- AI×ビジネス未来図、AI利活用における現状と課題
  - └ 参加者対象：AI導入を検討する企業、技術・サービス提供企業など
- ヒトはAIとどう向き合えば良いのかー社会、ビジネスにおけるAIの在り方
  - └ 参加者対象：大学教授
- 生成AIでビジネスが変わる今、エンターテインメント業界は生成AIにどう取り組むか
  - └ 参加者対象：エンタメ業界、その周辺業界の主に実務レベル(課長・部長クラス)の方々

## 2025 反響

- ユーザー企業の現状が分かり学びのある場だった
- 弊社の取り組みを発信する場を設けることができた
- 自分たちでは中々コネクションが難しい企業、部署とのネットワーキングになった



## 4 【冊子】BOOK in BOOK

---

# BOOK in BOOK & 同梱

「日経ビジネス」「日経コンピュータ」にて、<BOOK in BOOK(雑誌内への綴じ込み)>で、さらに日経BPが保有する専門誌8媒体にて<同梱冊子>として、冊子『AIリーダーズ』を発行いたします。発行部数は累計約23万部で、「AIリーダーズ会議」の採録もこちらに掲載します。時流を捉ええた巻頭特集をはじめ、Webサイト「AIリーダーズ」掲載の人気記事も掲載し読者へ届けます。

## BOOK in BOOK



### 日経ビジネス

日本でNo.1の支持を得ている  
経済・経営の総合情報誌。  
発行部数：約14.6万部



### 日経コンピュータ

ITプロフェッショナルのための  
“No.1”総合情報誌。  
発行部数：約1.5万部

## 同梱冊子



### Sources of innovation 日経エレクトロニクス NIKKEI ELECTRONICS

電子・情報・通信技術の  
総合誌。  
約1万部



### 日経ものづくり

グローバル時代、製造業の  
開発・設計・生産を  
応援する。  
約9,000部



### 日経Automotive

要素技術から企業戦略  
まで自動車業界の総合  
技術情報誌。  
約8,500部



### 日経アーキテクチャー

プロフェッショナルが  
選ぶ建築情報誌。  
約1万部



### 日経コンストラクション

土木の総合情報誌。  
約1.9万部



### 日経ヘルスケア

医療機関と介護事業の  
経営・運営のための必  
読誌。  
約1.1万部

※冊子の発行は、6月・12月を想定しております。

累計：約22.8万部

# 参考 | 各媒体タイアップ金額

雑誌8媒体+Web4媒体で記事体広告を実施する場合の金額は、約2,700万円相当になります。

雑誌媒体	4C2P
日経ビジネス	5,040,000
日経コンピュータ	2,472,000
日経エレクトロニクス	2,112,000
日経ものづくり	1,388,000
日経Automotive	1,160,000
日経アーキテクチュア	2,140,000
日経コンストラクション	1,138,000
日経ヘルスケア	1,032,000
制作費	600,000

計17,082,000円(税別)



Web媒体	4週間掲載
日経ビジネス電子版	3,500,000
日経クロステック	2,000,000
日経クロストренд	3,000,000
日経メディカル	1,500,000

計10,000,000円(税別)

**トータル27,082,000円(税別)相当**

5

【対話会】経営者ブレックファーストミーティング

---

# 経営者ブレックファーストミーティング

年間2回、CEOを中心とした経営トップの朝食会を開催いたします。  
経営課題のひとつとなっているAIの利活用について、  
最新の動向を経営者自らが学びを得る場として企画いたします。

## 議論テーマ案

- 企業成長に向けてAI活用をどう位置づけるか
- AIの効果的な活用に経営者はどんな姿勢で臨むべきか
- AI人材はどう育成、獲得すればよいか
- AI推進での社内の“障壁”はどこにあるのか、それをどう解消しようとしているか



**【会期】 第1回:5月22日(金) / 第2回:11月27日(金)**

**【場所】 ホテルニューオータニ 鳳凰の間**

**【時間】 7:30-9:30**

※軽い朝食をご用意いたします



## マイケル・クスmano

マサチューセッツ工科大学(MIT) スローン経営大学院 経営学部教授

プラットフォーム論の世界的な権威。AIなど技術イノベーションと企業経営の関係性に精通している。

「スローン・マネジメント・レビュー」主幹教授、マイクロソフトの研究でもよく知られる。

2016年～17年東京理科大学特任副学長、19年からオリックス社外取締役を歴任するなど日本の事情にも詳しい。日経ビジネス電子版連載コラム「[MIT教授に聞く 組織イノベーションの条件](#)」に登場。米プリンストン大学を卒業、米ハーバード大学で博士号(Ph.D)取得。技術イノベーション、起業、戦略マネジメントが専門。



## 宮田裕章

慶應義塾大学医学部 教授／一般社団法人Generative AI Japan代表理事

データ駆動型社会の重要性を説く。医療分野でのAI活用に早くから取り組むなか、より広くAIを社会実装する一般社団法人Generative AI Japanを立ち上げ代表理事に就いた。就任を受けた日経ビジネスのインタビューでは、「『デジタル敗戦』と揶揄される日本は、むしろ今後迎えるデータ駆動型社会で『ジャンプ』する可能性を秘めている」と語る。企業などでの優れたAI活用事例を表彰する「生成AI大賞」を同財団と日経ビジネスが共同開催し、審査委員長も努めた。2015年5月より慶應大学医学部医療政策・管理学教室教授。

9月回

講師：トライアルホールディングス 永田 洋幸 社長

講演テーマ「トライアルはなぜAI／データ活用を経営に取り入れてきたのか」

11月回

講師：ロート製薬 山中 雅恵 CXO

講演テーマ「ロート製薬におけるAIに関する取り組みについて」

- ①データが整備されていない領域で、AIは活用できるのか？
  - AIのために、まずDXを進めるべきなのか？
  - AIによる生産性向上のために、人事制度まで視野に入れた組織改革に踏み込むべきか。
  - AIの活用アイデアを作り、その効果を検証できる人材はどう育てられるのか。
- ②日本人は「業務プロセス設計」が苦手？
  - SoR(System of Record)ではなく、SoE(System of Engagement)の領域で業務プロセス設計を担える組織・人材はどうつくりだせばよいか。
  - 業務プロセス設計と人材育成のバランスはどう考えるべきか。

6

## 【調査】日経BP独自調査レポート

---

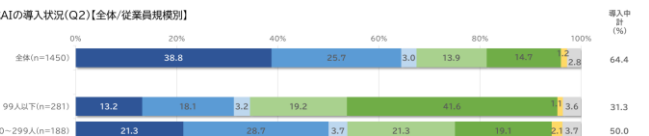
# 日経BP独自調査

年に一回、日経BP独自で生成AIの活用状況に関する実態調査を実施します。  
協賛社にはレポートをご提出いたします。

## 生成AIの導入状況(従業員規模別)

- 生成AIを「導入中」は全体の6割を超え、「検討中」を含めると8割強を占める。
- 生成AIを「全社的に導入している」が4割強。
- 従業員規模が大きいほど導入率が高い傾向が見られ、「5000人以上」では9割弱が「導入中」となっている。

### ■ 生成AIの導入状況(Q2)【全体/従業員規模別】



### ■ 普段利用している生成AIツール(業種別)

- 業種別では、「製造業」「建設・不動産」「流通・物流」「IT・通信」では「Copilot」の利用率が最も高く、「教育」「医療・福祉」では、「ChatGPT/DALL-E/Sora」が最も高い。
- 「教育」では「Gemini」の利用率も高く、業種内で唯一4割を超えている。

●全社的に導入して  
Q2. あなたの「勤務先」で  
使われているツールはどのくらいですか？

### ■ 普段利用している生成AIツール(Q8)【全体/主な業種別】

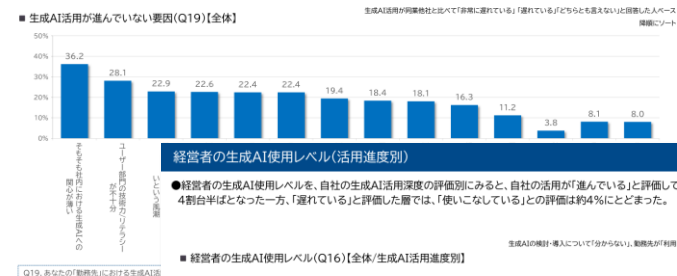


Q8. あなたの「勤務先」において導入済みで、普段利用している生成AIツールを教えてください。(1~7つまで)

## 生成AI活用が進んでいない要因

- 自社の生成AI活用が他社より「進んでいない」理由としては、「社内における生成AIの関心の薄さ」が3割台半ばで最も高い。

### ■ 生成AI活用が進んでいない要因(Q19)【全体】

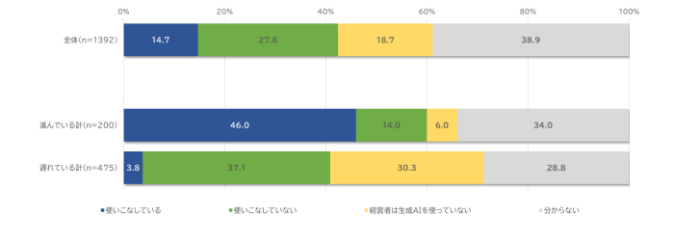


Q19. あなたの「勤務先」における生成AI活用の理由を教えてください。(複数回答可)

### ■ 経営者の生成AI使用レベル(活用進捗別)

- 経営者の生成AI使用レベルを、自社の生成AI活用深さの評価別にあわせてみると、自社の活用が「進んでいる」と評価している層では、「使いこなしている」が4割台半ばとなった一方、「遅れている」と評価した層では、「使いこなしている」の評価は約4%にとどまった。

### ■ 経営者の生成AI使用レベル(Q16)【全体/生成AI活用進捗別】

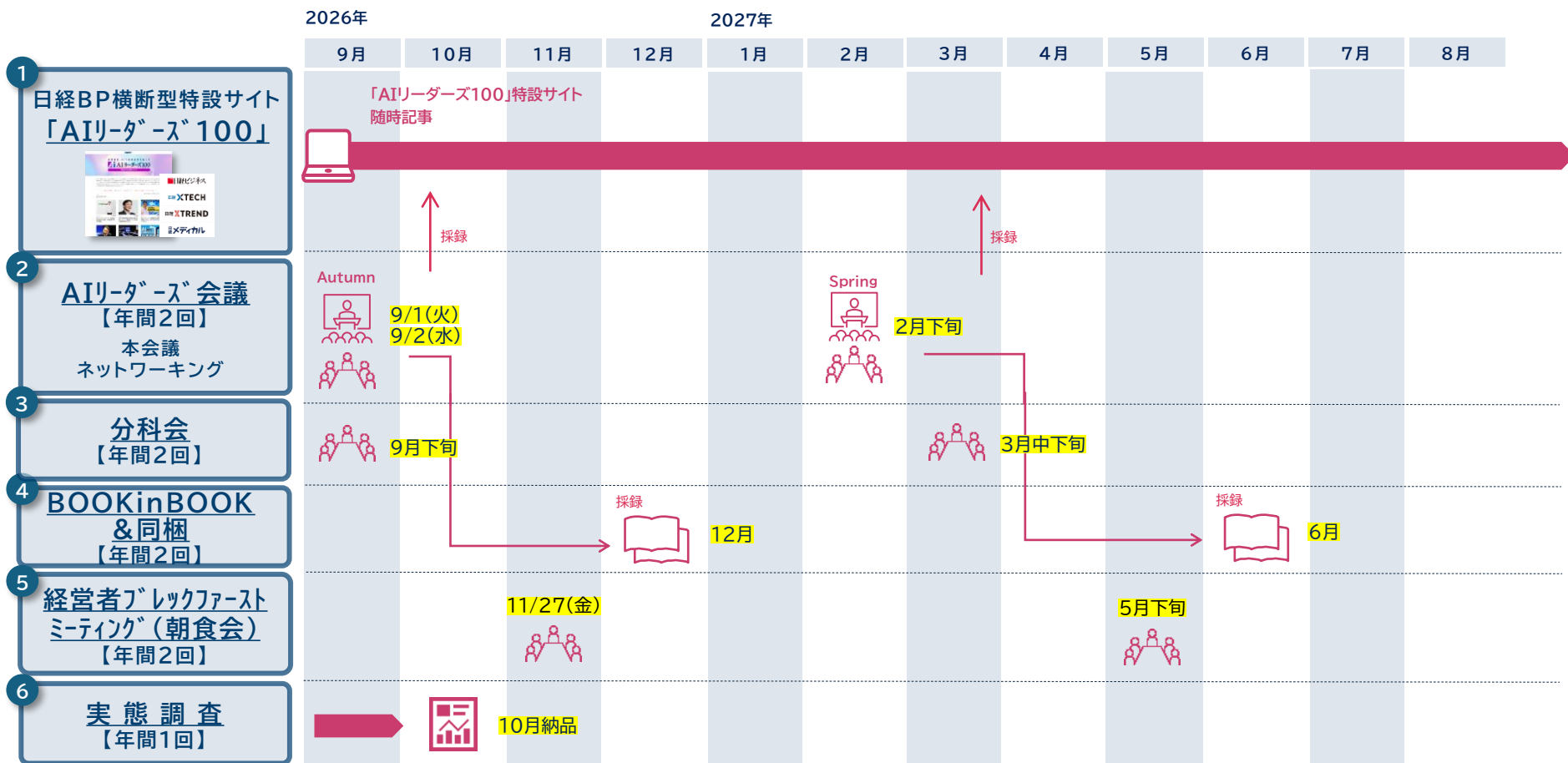


Q16. あなたの「勤務先」の経営者は、生成AIを使いこなしていますか。(1つだけ)

スケジュール／協賛メニュー

---

# 「AIリーダーズ100」プロジェクトスケジュール



# 申込スケジュール

2026年5月末



**申込締切**

**※限定4社、決定順**

2026年6月～7月



9月1日(火)・2日(水)の「AIリーダーズ会議 Autumn」に向けて、  
登壇準備を進めていきます。

**7月中旬告知オープン予定。**

2026年9月以降



「AIリーダーズ会議」や「経営者ブレックファーストミー  
ティング」など様々なプロジェクトにご参加いただきます。

# ご協賛メニュー

メニュー	実施回数 (想定時期)	数量	詳細
「AIリーダーズ会議」パートナーセッション	年2回 (9月、3月)	各回1名	・ユーザー企業との対談セッション(20分)or単独ピッチ(10分) ※単独ピッチの場合はパネルディスカッション参加可
「AIリーダーズ会議」分科会オーガナイザー	年2回 (9月、3月)	各回1テーマ	・ご希望のテーマで分科会開催 ・非公開のラウンドテーブル、または記事化して広くPRすることも可能
「AIリーダーズ会議」聴講者リード提供	年2回 (9月、3月)	各回1,000件	・プロジェクト全体で約2,000件のリードをご提供想定
「経営者ブレックファーストミーティング」ご出席	年2回 (11月、5月)	各回1名	・CEOを中心とした経営トップの勉強会 ・朝食会形式のラウンドテーブル(7:30-9:30想定)
「AIリーダーズ100」冊子タイアップ記事 掲載	年2回 (12月、6月)	各回 4色2ページ (1回 4色4ページも可)	・日経ビジネスや日経コンピュータなど複数の媒体にBOOK in BOOK形式 または同梱形式で創刊する「AIリーダーズ100」内に掲載
「AIリーダーズ100」Webタイアップ記事 掲載	年2回 (12月、6月)	誘導含む	・冊子記事流用 ・各記事の掲載期間:4週間(掲載終了後1年間アーカイブ) ・7000PV想定(日経ビジネス、日経クロステック、日経クロストrend、日経メディカル、および、外部誘導)
AI活用実態調査レポート 特別編	年1回 (10月頃)	一式	・ユーザーの課題把握など日経BP独自調査をレポートにてご納品

**ご協賛金額:20,000,000円(税別)**

# Appendix: 2026年度3月よりご協賛の企業様

**Adobe**

**BAIN**  
& COMPANY 

**Deloitte.**  
デロイト トーマツ

**dentsu japan**

**Google**

Hakuhodo DY holdings

**CTC**  
Challenging Tomorrow's Changes

**IIElevenLabs**

**Lenovo**

**hp**

 **miro**

**salesforce**

(ABC順)

お問い合わせ

**日経BP**

ソリューションビジネス企画部

[sbk@nikkeibp.co.jp](mailto:sbk@nikkeibp.co.jp)